



からしだね

2013年
4月号(482号)

キリストの受難
カトリック池田教会

共同宣教司牧: 畠 基幸神父・染野治雄神父
協力司祭: デニス・マックゴワン神父
住所: 〒563-0041 池田市満寿美町9-26
TEL : 072-751-2400 FAX : 072-753-4624
URL(ホームページ) :
http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



巻頭言	2	カトリックの典礼の伝統的な色	3
教皇フランシスコの説教	4	ガラスケースの言葉	5
表紙写真説明	5	日曜学校お別れお祈り会	5
宝塚黙想の家から	6	モミとサクラの若木の植樹	6
からしだね俳壇	7	豊中教会日曜学校との交流会	8
中高生会歓送迎会	8		

表紙写真: イタリア ミラノドゥオモ(大聖堂) 撮影: 神崎 茂

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です
完全版をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください

巻頭言

A Happy Easter ! ご復活祭 おめでとうございます。

畠 基幸 神父

本当に春になりました。桜の満開とともに復活祭が重なるのは、とても神の祝福を感じます。皆様、主の復活おめでとうございます。今年の春は、とりわけめでたく感じます。もちろん、この春一番、3月13日(水)、第266代教皇にアルゼンチンのベルゴリオ枢機卿が選出されたからです。聖霊の風が吹き荒れて後、急に何か教会に明るい光、希望の光が差し込んだのを感じたのは、わたし一人だけではないと思います。グレゴリアン大学で教会法を教える菅原祐二神父は、読売新聞に「この人選は、継続性と刷新の両方を世界に印象づける」とコメントし、「フランシスコを名乗る初の教皇になるが、イタリアの保護の聖人アシジのフランシスコという偉大な聖人の名を選んだこと自体が彼の世界へのメッセージ」と期待を語っていました。新教皇は、アルゼンチンの枢機卿でイエズス会という修道会出身、そして、歴代教皇の中でフランシスコの名は初めてと聞くと、これはやはり聖霊の選び以外にはないと感じます。新教皇の人柄は、新聞や説教などでしだいに明らかになってきました。「とても素晴らしく素朴な人」(ニューヨークの枢機卿評)とのこと。カトリック新聞のウェブ・ニュースには、日本26聖人記念館の館長レンソ・デ・ルカ神父の談話が載りました。神父はアルゼンチン出身の宣教師で、彼を日本に派遣したのはほかならぬ当時管区長だった教皇だったのです。召命の少ないアルゼンチンから宣教師派遣は考えられない時に、最初の海外宣教師派遣先に日本を選んだ教皇は、視野の広い勇気のある管区長だったと。

教皇フランシスコの紋章(右図)とモットーは、3月18日に発表されました。前教皇が用いた同じミトラ(司教冠)と2本の交差した鍵の上に、フランシスコを象徴する青い楯を描き、楯の上部にイエズス会の紋章、下部の左に星(キリストと教会の母聖マリア)、右にナルドの花(教会の保護者聖ヨセフ)を示す絵柄が配置され、紋章の下に、「Miserando atque eligendo」(「あわれみ、そして選んだ」)、ラテン語のモットーが刻まれている。この言葉は、イングランドの聖ベダ司祭(8世紀)からの引用で、新教皇様が1953年の聖マタイの祝日に修道会へ招かれたときの体験に基づくのです。その日のマタイ福音書の説教は、9章9節から13節の徴税人マタイを招くイエスについての説明で、このラテン語の言葉が引用されました。福者ヨハネ・パウロ二世教皇のモットーは、「すべてはあなたのもの」、名誉教皇ベネディクト16世のモットーは、「真理の協働者」です。各教皇ご自身の使徒職の青写真のようにキリストの代理者としての自己紹介と決意の表明です。



とても素朴な性格の教皇様だと報じられているように、初めの説教、初めての主日のミサでの説教、初めてのお告げの祈りでの説教と、すべて予定の原稿なしの、即席で普段の教皇のことばがあふれて出てきました。そして、その内容は、驚くほどシンプルで深いのです。コンクラーベでの説教が多く枢機卿の心を掴み、圧倒的な投票数で選ばれたのです。中央協議会のホームページにそれらの最初のテキストはすべて翻訳されて掲載されています。17日の四旬節第5主日の説教(4ページに掲載)では、姦通の女を死罪から救う話です。わたしは同じ個所を説教したのでその違いがよく分かります。教皇様の話は、「神のあわれみ」でしたが、教皇自身があわれみのある人なのです。同じ昼のお告げの祈りの時には、赦しの秘跡について、おばあさんとの対話から、素朴な人の「神のあわれみに対する内的な知恵」と現代の失われた信仰の感覚、「わたしたちがゆるしを求めるのに倦むこと」を驚くほどの単純で簡潔にユーモアを交えて分析し、回心すべき道を示されたのでした。

さて、わたしたちの池田小教区も、新しい2013年度の歩みが始まります。私たちの教会は、カトリック教会の中のローマ教会の部分教会の、日本にある16教区の一つ、大阪教区

の北摂地区の西ブロックの日生中央・池田小教区群に属します。まさに、キリストの体の細胞です。同じキリストの教会の体です。当然、ローマの動きと無関係ではありません。名誉教皇ベネディクト16世によって始まった「信仰年」は、信徒一人一人の信仰の再発見を通して教会の刷新と新しい福音宣教への熱意に燃えるように望まれたのです。そのためでしょう。教皇自身が辞任し、新しい教皇の下に教会の刷新を望まれました。私たちも、また、これまでと同じことをするのではなく、信仰を再発見して新しいことを始めましょう。フランシスコ教皇の最初の説教では、ミサの朗読箇所を解説する形で重要なことが三つ語られました。旅路を歩む動き、教会を築く動き、福音における告白の動き。（この最初の説教のテキストはすぐに手に入ると思います。）継続性と言えば、福者ヨハネ・パウロ二世教皇が人々の友となるために全世界を旅して開かれた教会の姿を示し、名誉教皇ベネディクト16世が、真理と愛に基づく信仰の土台、イエス・キリストへの信仰の上に築く教会を鼓舞し、そして新教皇は、十字架なしの信仰告白は、たとえ教皇であっても主の弟子にはならないと断言し、貧しい人と共に生きる教会の姿勢と刷新への意欲を強調されました。この三つの動きは、私たちにとって、週の初めの日の夕方「イエスが真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言って、手と脇腹をお見せにな。弟子たちは主を見て喜んだ」（ヨハネ19:20～23）ように、聖霊を息吹かれ、派遣される、これからの教会活動や社会活動の霊性の基盤になるように思います。開かれた教会、真理と愛に基づく信仰、そして十字架の愛を実践する教会を基本的な旗印として掲げましょう。主はまことに今、生きておられます！アレルヤ、アレルヤ。皆さん、共に歩み始めましょう。



カトリックの典礼の伝統的な色について

カトリック教会では、祭服の色について、伝統的な決まりがあります。

白色は、神の栄光、勝利、復活、喜び、清らかさの象徴です。降誕節・復活節、キリストの諸神秘を祝う祝祭日、聖母・天使・成人の祝祭日、洗礼、堅信、初聖体、叙階、結婚の各儀式の時に用います。また、祭儀の時にも使うようになりました。

赤色には、二つの象徴があります。一つは火(精霊)を表す場合で、聖霊降臨の主日に用います。もう一つは、血(命まで捧げつくす愛)を表す場合で、主の受難の主日、聖金曜日、また殉教者の祝祭日に用います。

緑色は、大きくなって行く新芽の色で、天国への旅路を導く希望を意味し、「年間」に用います。

紫色は回心、節制、悲しみを表す色で、待降節、四旬節、そしてゆるしの秘跡や葬儀、死者のためのミサなどに用います。

黒色は、葬儀や死者のためのミサなどに用いることができます。最近では、あまり使用されない傾向にあります。

ばら色は、控えめな喜び(待つ喜び)を表すために、待降節の第三主日と四旬節の第四主日に用いることができます。

金色と**銀色**は、祝祭日にはその日の典礼色(紫と黒の場合を除く)に代えて、適当であれば金・銀色を用いることができます。この金色や銀色は、神の栄光、神の力、神の国を象徴する色です。



カトリック中央協議会 ホームページより

教皇フランシスコのサンタンナ教会での説教

3月17日(日)午前10時からバチカンのサンタンナ小教区聖堂で、教皇フランシスコは四旬節第5主日のミサをささげました。このミサの中で教皇は、事前に準備した原稿なしに、この日の福音(ヨハネ8・1-11)を解説しながら説教を行いました。以下はその全文です。(原文イタリア語)

イエスはまず、一人で山で祈られました。これはすばらしいことです。イエスは一人で祈られました(ヨハネ8・1参照)。それから、イエスは再び神殿に行き、民衆が皆、彼のところに来ました(2節参照)。イエスは民衆の真ん中に立ちます。それから、最後に、民衆は女とイエスだけを残して立ち去ります(9節参照)。イエスの孤独。しかし、それは実り豊かな孤独です。それは御父との祈りの孤独です。女に対するあわれみの孤独です。これが今日の教会のすばらしいメッセージです。

民衆の間にも違いがあります。すべての民衆がイエスのところに来ました。イエスは座って、彼らに教え始めます。それはイエスのことばを聞きたいと望む民衆です。神のことばを必要として、心を開いた民衆です。他方には、何も聞かず、聞くこともできなかった民衆がいます。女を連れてきたのはこの民衆です。先生、この女は……。わたしたちはモーセがこのような女にするように命じたことをしなければなりません(4-5節)。

わたしたちも、イエスのことばを聞くことを望むとともに、他方で、時として、他の人を打ちたたき、非難する、このような民衆だと思えます。イエスのメッセージは、あわれみです。わたしはへりくだっていいですが、わたしにとって、これこそが主のもっとも強力なメッセージです。しかし、主ご自身がこういわれました。わたしが来たのは、正しい人のためではない。正しい人は自分で自分を義とする。聖なる主はいいます。あなたがそのようにできるなら、行ってそうしなさい。わたしにはできない。しかし、彼らは自分がそのようにできると考えている。わたしが来たのは、罪人のためである(マルコ2・17参照)。

マタイが召し出された後の悪口を思い起こしてください。しかし、主は罪人とともに歩みました(マルコ2・16参照)。主は、わたしたちのために来られました。わたしたちは自分が罪人であることを認めるからです。けれども、もしわたしたちが祭壇の前で祈るあのファリサイ派の人のようにであれば——主よ、わたしがほかの人たちのようでなかったこと、あの門の前にいる徴税人のような者でないことを感謝します(ルカ18・11-12参照)——、わたしたちは主のみ心が分かりません。あのあわれみを感じる喜びを得られません。神のあわれみに身をゆだねることは容易ではありません。神のあわれみははかりしれないほど深いからです。しかし、わたしたちは神のあわれみに身をゆだねなければなりません。「神父様。わたしの生涯をご存知なら、そのようなことをわたしにいわれないでしょう」。「なぜですか。あなたは何をしたのですか」。「恐ろしいことをしたのです」。「よろしい。イエスのもとに行きなさい。そのことを話せば、イエスは喜んでくださいます」。イエスは忘れます。イエスは特別な忘れる力をもっておられます。イエスは忘れ、あなたに口づけし、あなたを抱き、ただこういわれます。「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはならない」(ヨハネ8・11)。これが、イエスがあなたに述べる唯一の助言です。一か月後、わたしたちはまた同じ状態にいるかもしれないかもしれません。……主のもとに立ち帰りなさい。主は本当に、倦(う)むことなくゆるしてくださいます。ゆるしを求めるのに倦むのはわたしたちです。ゆるしを求めることに倦まない恵みを求めようではありませんか。主は倦むことなくゆるしてくださいますからです。この恵みを求めたいと思えます。

(カトリック中央協議会 司教協議会秘書室研究企画訳)

(2013.3.19)

4月ガラスケースの言葉

手をたたこう

喜びの声をあげ

神をたたえよう

詩編47



池田教会の桜

【表紙写真説明】 イタリア ミラノドゥオモ(大聖堂)

ドゥオモとは大聖堂のことで、幅93m、奥行き158m、総面積11,700㎡の大聖堂。天を突き刺すように伸びる135本もの小さな尖塔と天井を飾るステンドグラスは、ゴシックの大傑作とたたえられてる。9世紀に出来たサンタ・マリアマジョレ教会を取り壊してその後に後期ゴシック式で建設したもので、1386年から500年を費やして1813年に完成した。入口の扉が青銅に置き換えられたのは1965年つい40年あまり前。

(神崎 茂)

日曜学校 5・6年生 お別れお祈り会 (3月16日)



宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

私たち、キリスト者に与えられている宝は、神のみことばである聖書です。
黙想の家では、毎月みことばを深く味わう集いを行っています。
宝は大事にしたいですね。

■ 日帰り黙想会

4月18日(木) 10:00～15:30

指導：山内十束神父 費用：3,300円

4月19日(金) 10:00～15:30

指導：山内十束神父 費用：3,300円

■ 一泊黙想会

4月27日(土) 17:00 ～ 28日(日) 15:30 指導：山内十束神父 費用：8,800円

申し込みは、黙想の家まで TEL. 0797-84-3111

モミ(樅)とサクラ(桜)の若木が植樹されました

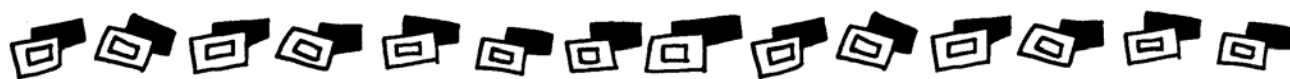
教会門を入った所に1本のモミが2月下旬に典礼委員会の世話によって植樹されました。4年前に枯れた初代モミの跡地にある地下の大石を掘り除いて植樹された樹長2メートルの若木は、今冬からクリスマス・ツリーとして喜びと希望を池田市民に示すことが出来るようになり、近所の篤志家から寄贈されたLEDも華を添えるでしょう。同じ時期に、教会門の南側敷地の道路際に在る5株のサクラの株間に1本(約1m)の若木が篤志家によって植樹されました。からしだね12月号で報告したように、道路上に広がった大枝を切断する際に原田樹木医(川西市在住)から、現在の株は老齢化しているために早めに2代目を植樹するように勧告されていました。肥料の散布は総務委員会？がされるかもしれませんが、暑い時期の水遣りを皆さんに気遣ってもらって、2つの新株を順調に成長させましょう。



モミ(樅)



サクラ(桜)



編集後記

今日のニュースで、イラク戦争開始から10年がたち、地下鉄サリン事件から18年がたったことを繰り返し報道していました。あれらの事件は今も終わってはいません。多くの人が苦しんでおられます。そして安倍首相のTPP交渉参加表明がありました。私達のおかれた状況は大きく変わろうとしています。遠い国のことではなく、私達が生きていくうえで必要な食べ物や医療が、そして仕事がどうなっていくのかとても不安です。これ以上状況が悪化しないように、安心して日々暮らせるために、どうすればいいのか、何かできることはないのでしょうか。

フランシスコ教皇は『政治、経済、社会に責任あるすべての人と、善意あるすべての人々よ。この世界を死と破壊へ進めるのではなく、守護者となろう』と語られました。私達もその語りかけにこたえるものとなりますように。(まーちゃん)



からしだわ俳壇

松本善一

捨くぼどのことなく消えて春の雪
春泥にまみれ牧舎に牛戻る

大西秀子

復活祭 木々に小鳥の吉声満る
鶯の次の一声待つ静寂

馬場とよ

淡雪や木々の序奏の始まりぬ
一陣の風を遊ばせ猫柳

亀甲表子

紅梅をひたとぬりこむ闇夜かな
啓蟄やアメリカからのメール来る

村嶋伸子

短めの制服まがし卒業式
巣立つ子等にきび面にも涙あり



原田寛子

若者の古着ばやの春一番
紙雛の目鼻何よりゆふかほしくて

赤井ひろ子

湯がめかなドラマの最後見届けて
踏みゆくには春の雪白すぎて

仲和子

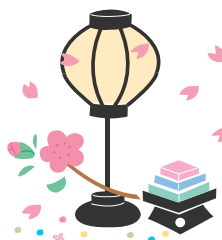
何時打ちし生杭今朝芽吹きあり
春愁や襖の白さみとやぬる

森山真美子

夕東風也青白の紐を締め直し
白梅の梢にとりゆく蕾

山石尾純枝

春夕べ港神戸は茜色
四角節飽食の咎わが胸に



豊中教会日曜学校との交流会（3月17日）

豊中教会から、子どもは、小学生・幼稚園の4名、高校生1名の5名と、リーダー父兄7名が、池田教会を訪問して下さいました。豊中教会にはボーイスカウト、ガールスカウトがありますが、日曜学校に来る子ども達は池田に比べて少ないそうです。当日はカール記念館で、一緒にお昼ごはんを食べて、池田の高校生が早速ゲームを始めてくれて、だれがどこの子かわからないぐらい楽しく一緒に過ごすことができました。高校生リーダーありがとう！また当日急ごしらえにもかかわらず準備して下さいましたスタッフ・リーダーの方ありがとうございました。



中高生会 新中1 歓迎会・高3 追い出し会（3月9日）

